

事業実績報告書

様式 2
(2018年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B03	講座名	名古屋に生きている野生のニホンリスに会いませんか？
記載日	2018/10/12	団体名・企業名	守山リス研究会

〈講座全体の概要〉(300字程度)

リス研の定期調査活動や捕獲調査から 1)実際の調査を体験し、2)本物の野生のニホンリスの存在に接する体験学習 をしてもらいます。また自然と知恵比べをすることで発見学習・課題解決学習をフィールドで体験して、観察力を磨き、自然の知恵に驚き・感動する機会を共有します。今後の子ども達に必要なアクティブ・ラーニングの学習の基礎となるこの三つの学習を体験してもらう講座です。

〈写真添付スペース(1~2点)〉



※写真1の説明

木の直径をデンドロメータから読み取る

※写真2の説明

リス捕獲調査時の子ども達による体重計測

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

小学生親子の毎月参加が少なく、同じ家族の複数回参加や、長期休みなどに集中参加するという形になってきた。土曜日の活動への参加がしづらい状況(学習塾、部活など)が出ていると思われます。更に、デズニーランドやUFJなどの娯楽と同じレベルでこういった活動を捕らえる人もいますが、子どもの本当の力や体験や学習が重要と考える父兄も確実に存在していることはありがたく、明るい状況ですが、金銭的な貧富の差だけでなく「なにが重要かを考える意識」での貧富の差が両極端になってきているのがアンケートから推察されます。参加媒体によってもその繁栄が見られる。それでも参加してくれた小学生・親子のアンケートからもその驚きや知恵比べの面白さが読み取れていることは救いで、そういった子ども達を広げていくことがNPOの役割だと思っています。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

おとなで、「難しかった」という人が一方にいるのに、他方では、「基本的になぜを教えてください。」とか「触れてみて、考えて、教わってという学びがとても楽しかった」や「内容が深く、かんがえるための導入をして頂いてとてもためになった。」という両極端の反応が見られたが、それが現実とうけとめ、次回も参加したいという複数の意見を前向きに受け止め、さらに満足度があがるように対応してゆきたい。また親子でもゆっくり体験しながら登れるという意見とゆっくりとしているため時間が長くこどもがばててしまったというこれも両極端の意見があるが、猛暑の中での活動であったことを考慮しても、同じ背景をもっていると思われました。